

令和5年度 金閣小学校教育の基本方針

令和5年4月

学校教育目標

自分の夢に向かって、自ら考え行動する子の育成

～「なりたい自分」に向かってがんばれる金閣の子～

目指す子ども像

～気づき、考え、実行する子ども～

- よく見て、よく聞いて、よく考える子 『知』
- 友だちを自分と同じように大切にする子 『徳』
- 体や心を鍛え、命を大切にする子 『体』

育てたい資質や能力

- 多様な他者を理解し、自分から進んで関わろうとする力 【人間関係形成力】
- 自分の思いを話し言葉や書き言葉で豊かに伝えようとする力 【表現力】
→総合的な学習の時間及び外国語科(育成学級は生活単元学習)を核に

目指す教職員像

- 信頼できる大人としてのモデルを示すことのできる教職員 【連携・協働・研鑽】

目指す学校像

- 「あいさつ」と「ありがとう」を大切にする学校
- 一人一人の子どもが徹底的に大切にされる学校

指導の重点

(1)教育活動

①学年経営を基盤とする学級経営の安定化

- 全ての子どもが安心して、過ごせる学級・学年
- 自分の居場所がある学級・学年
- 目標をもって行動する学年
- 児童理解
 - ・児童、保護者との信頼関係の構築
 - ・学習(生活)態度の観察と学習成果物の分析
 - ・より多くの視点での児童理解
 - ・児童一人一人の背景を捉える(生活実態の把握)児童のせいにしない
- 心情的共感
 - ・心情的に共感し合える関係の構築 心の交流
- 受容
 - ・まず受け入れる しっかり話を聞く
 - ・思いを受け入れ、相手の立場になって考えてみる
 - ・まず聞き入れて付き合ってみる
 - ・最後まであきらめない

②カリキュラムマネジメントの視点による教育実践

○カリキュラムデザイン

- ・すべての教育内容を教科横断的な視点で組織的に配列し、効果を高める。
- 関連単元配列表の作成・活用

○PDCAサイクル

- ・教育内容の質的向上を図るために、評価・改善・充実の好循環を目指す。

○内外資源の活用

- ・教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせる。

③授業(学習指導)の質的改善

○基礎基本の徹底指導・定着

- ・「読む力」「書く力」と「計算力」を向上させる
- ・楽しい授業、分かる授業、できる授業の構築
- ・ノート指導、発問・板書の工夫・個別指導の工夫
- ・導入は短く、中心(山)のある授業展開
- ・一時間ごとの「ねらい」の明確化
- ・「学習問題」「めあて」「まとめ」「ふり返り」
- 学習問題・めあて・学習問題・まとめ・ふり返りの黒板掲示用カード・ハンドサンの活用

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・育てたい資質や能力【人間関係形成力と表現力】の明確化
- ・問題意識をもって追究する問題解決的な学習の展開
- ・高学年での教科担任制の実施

理科専科(5・6年)・図工専科(3~6年)・音楽専科(5・6年)

(上記以外の教科は学年で相談)

・「楽しい」「わかった」が聞こえる授業

・GIGA 端末のより積極的かつ効果的な活用

○個に応じた指導

・個別最適化、「誰一人取り残さない」視点

・支援を必要とする児童への学力保障(ユニバーサルデザインの視点)

・通級指導教室・日本語指導教室との連携

○学習評価の充実(指導と評価の一体化)

・京都市スタンダードの活用

④道徳教育の充実

○道徳的実践力を培う

○あらゆる教育活動を通して、子どもの内面に根ざした道徳性を養う。

○「読み物資料」「視聴覚資料」の活用

・特別活動との関連

・道徳的価値を自分の生活と関連付けて理解させる

・多面的・多角的に考えたり議論したりする授業の創造

⑤総合的な学習の時間の充実

○探究的な見方や考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習展開を通して、自己の生き方に働きかける資質や能力を育てる。

・各教科の学びとの関連を強化し、問い合わせが連続する単元構成を図る。

・学校行事や特別活動と学習内容を関連付けることで、教科横断的な学習の充実を図る。

・学習発表会の在り方について

⑥英語教育の充実

○小中連携を意識し、コミュニケーション能力の基礎となる資質や能力を育てる。

・ALTとの連携による指導の充実

・小中連携の強化による指導の接続

・高学年の学習評価の研究

・低学年の指導法の研究や教材開発の推進

⑦キャリア教育の充実

○生き方探究パスポートを活用したキャリア発達の継続的アセスメント

⑧プログラミング教育の実施(5年算数科及び6年理科は必須)

⑨特別活動の充実

○自ら進んで活動する「集団づくり」の推進

・6年生を中心とした児童会活動

・「委員会活動」「クラブ活動」等での人間関係力の育成

・学校行事のねらいと計画的な取組

- ・縦割り活動(ABC 集会)の充実(6年生のリーダー性を育てる)

◎社会見学・宿泊学習

- ・目的意識をはっきりさせた活動の創造
- ・花背山の家 2泊3日 (5年生)
- ・修学旅行 1泊2日 (6年生)
- ・遠足 (1・2年生)
- ・社会見学・校外指導

⑩読書活動の充実

○児童の読書への興味・関心を高めるための取組の推進

- ・効果的な朝読書の工夫
- ・読書環境の充実と「100冊読書」への挑戦
- ・学校図書館の普通授業での活用
- ・読み聞かせ活動の充実
- ・学校司書との連携による、各学級での読書活動及び読書指導の充実
→朝読書の時間の確保(8:30~8:40)

⑪家庭学習の充実

○基本的な学習習慣の定着(10分×学年)

- ・家庭学習の手引きの活用
- ・自学自習の習慣化のための啓発

○明確な家庭学習課題の設定(宿題・家庭学習習慣・自学自習)と確実な点検

- ・家庭の果たすべき役割の啓発と協働の取組
- ・学習予定表の工夫
- ・自主学習の取組
(家庭学習時間帯の設定・起床・就寝時刻など)
(読書の習慣化)(家庭学習課題の明確化)
(保護者との交流)
→低学年での日記指導(1年生は2学期から)
3年生以上の自主学習の実施(全校統一)

⑫学校生活の基本的な生活習慣の向上

○ゴールドあいさつの徹底(止まって、頭を下げて)

○登下校の把握と指導(登校時間 8:00~8:20)

○当番活動の指導の徹底(日直指導、清掃指導、給食指導 等)

○ルール・約束の徹底

○整理整頓 ・使ったものは元通りに

- ・教材教具の整備と整理

(2)研修

①学習指導

○子どもの変容を図るための教材研究と指導法の改善と工夫

・各教科の取組

・専科での授業を通しての研究(理科・体育・音楽)

・教員としての資質向上と育成をめざした研究

【積極的な授業公開による授業実践力の向上】

・GIGAスクール構想に基づく、タブレット端末を活用した個別最適化された
学びと集団的学びの融合

授業力向上(教員育成研修の内容の充実)

○生徒指導部・総合育成支援教育部と連携した、焦点化する児童を意識した指導

○学力定着調査等の活用

○教科主任による提言

►一人一授業 …研究授業、若手研修授業等

②人権教育の充実

<いつでもどこでも人権教育>

・教職員自らが鋭い人権感覚と人権意識を向上させる

・自己本位でなく、周りのことを思いやる組織づくり

・人権認識・人権意識の向上と実践

・自己の生き方に問いかける研修

・あらゆる差別を許さない組織作りと人権指導

○同和教育(同和問題指導)

○外国人教育(在日韓国朝鮮人・外国にルールをもつ児童に対する差別の問題)

○男女平等教育、ジェンダー平等、LGBTQ

○総合育成支援教育(個別の年間指導計画を基にした支援体制)

○福祉教育(聖嬰会との連携と児童理解)

►金小訪問の実施

③生徒指導の組織的な取組

○生徒指導の「さしすせそ」の共通理解と徹底

○「指導し切る」ことのできる指導体制の構築

○徹底した児童理解と学力保障

○いじめ防止基本方針に基づいた組織的な指導と見守り

○問題行動への迅速かつ的確な対応と報告・連絡・相談

○不登校に対する指導

○「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践

・社会的な自立に向けた学力向上

・学習規律を徹底する

・ルール約束を理解し、自ら律することのできる学力の保障

- ・いじめ、意地悪、偏見を許さない学校体制の構築
- ・DVネグレクトなど児童の権利の保障
- ・情報の共有化と具体的な行動化
- ・穏やかに話す。敬語で話す。
- ・「社会で許されない行為は、学校においても許されない」という毅然とした姿勢で指導を徹底

④健康教育・安全教育・食育の充実

- 健康と安全に関心をもち、自分の健康や安全を守る行動力を養う
 - ▶給食後の歯磨きの推奨(給食時間内や昼休み)保健だより等で啓発
フッ化物洗口の実施
- 「食育」の推進(ランチルームの設営と食育指導)
 - ▶ランチルーム使用
教室での栄養指導(45分×2回)
- 基本的生活習慣の向上「早寝・早起き・朝ごはん」と長期休業中の生活リズムしらべの有効活用
- 保健だより・給食だよりを活用した学級指導
- 体力テストの有効活用
- 食物アレルギーの現状理解と対策

(3)経営方針 力を合わせる教職員集団の育成

キーワード
『徹底』

① 行動する学校…チーム金閣

- 風通しのよい職場づくり…コミュニケーション、明るく温かい雰囲気のある職場づくり
- 学習指導力と生徒指導力向上 →授業の中での生徒指導 →学習規律
- 生徒指導システムの機能の強化 →学年会・生徒指導部会での情報交換・取組の徹底
- 家庭の役割の明確化と連携の強化 →聖嬰会との連携
- 各職種間連携 →食育、学校保健、学校経理、学校給食、学校管理
- 小大連携 →宿泊学習補助・学生ボランティア・教育実習
- LD等支援をする児童への学力保障 →個別学習課題・読み書きテストの取組
- 「報告・連絡・相談」の徹底…順番に注意

②開かれた学校・地域ぐるみの学校づくり…見える化

- 情報公開と説明責任 →「学校だより」「ホームページ」の充実
- 「学年」「人権教育」「研究」 →授業力向上と授業公開及び参観
- 外部評価を含む学校評価と評価結果の公表
- 学校評価を生かした学校運営
- 学校運営協議会
- PTA・地域との連携
- 小中連携 →小中連絡 行事への参加 中学校ブロックでの研修

③環境整備 (学習環境・職場環境)…**気持ちよく**

- 美しい職場環境づくり(ハード面)⇒職員室・会議室・資料室 等
- 落ち着きのある学習環境の整備
 - ソフト面:あいさつ・丁寧な言葉づかい・さん付け・温かい関わり・笑顔 等
 - ハード面:教室(特別教室)・廊下・校庭・靴箱 等

○学校安全対策環境の整備(安全指導・愛護委員・交対協・見守り隊との連携)

④働き方改革のさらなる推進…**生き生きと**

- 教職員の健康の保持・増進への意識向上
- 会議・研修等の時間の弾力的運用や時間外勤務の縮減
- 仕事のコントロール, ワークライフバランス
- エコデーの徹底(毎週金曜日18時30分セット)
- 校務支援員の効果的な活用による仕事量の負担軽減
- ペーパーレス会議の積極的導入による会議の準備時間の削減
- ➡働き方改革は時間だけの問題ではない！整頓された職場環境・働きやすさ・働く意欲
- ➡時間外勤務月 45 時間以内が目標。月～木曜日は19時30分セット
　金曜日は18時30分セット。
- ➡毎週火曜日の放課後は学年会
- ➡クラブ活動と委員会活動のない月曜日は5校時…仕事時間の確保